

地域に密着し、貢献する建設業

建物に「命」を吹き込む仕事「空調衛生設備業」

暮らしと密着したこの仕事を、皆さんにも知ってもらいたいです。

工業高校で出前授業・講習会を開催！

私たちの会社が所属している愛媛県空調衛生設備業協会では、県内の工業系高校で出前授業などを実施しています。

出前授業では、「蛇口をひねれば水が出る。エアコンのスイッチを押せば冷たい風が出る。」そういった当たり前の生活を守る『大切な仕事』である空調衛生設備業の仕事を紹介しながら、建設業の魅力などをお話しました。



体験実習スタート!みんな真剣です。



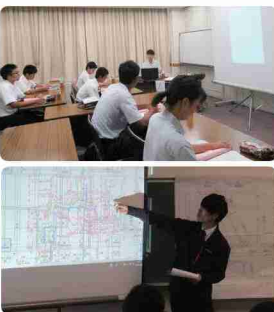
協力して配管を組み立てています。ものづくりにはコミュニケーションが不可欠。

講義の他に、配管作業の体験学習を行いました。生徒の皆さんは、技術者の指導を受けながら、いきいきとした楽しそうな表情で作業に取り組まれました。『ものづくり』の面白さや楽しさを実感していただいたと思います。



(株)松原水道工業所
かみおかしん
亀岡 慎 社長

講習会では、高校生でも受験できる「管工事施工管理技士」という「国家資格」の試験について、過去問や試験のポイント、受験の心構えなどをお話しました。講義中は専門用語が多く、頭のうえに「うーっ、うーっ」と思っています。真剣な表情で話を聞いていただきました。参加した生徒さんの中から合格者も誕生し、本当に凄いと感心しました。私たちの仕事は、学校で学ぶこととや触れ合う機会も少なく、ハードルが高いように感じますが、「初めてが当たり前、できなくて当たり前」の仕事ですので、将来の職業選択の一つに含めていただき、いつか一緒にこの業界を盛り上げていければと思います。



スクリーンを使って講義。

暮らしの電気を支える仕事「電設業」

地域の皆さんと、より良い街づくりを日々続けています。

地域の環境美化活動や高校の電気設備安全点検に取り組んでいます！

私たちの会社が所属している愛媛県電設業協会では、東中南予それぞれの地域で、年3回、清掃活動を実施しています。

それぞれ、愛ロード(道路の清掃)・愛リバー(河川敷の清掃)・愛ビーチ(海辺の清掃)と呼ばれる活動で、会員の皆さんと一緒に協力して、日々皆さんが通行している道路や河川敷、砂浜などの海辺のゴミ拾いや草引きなどを行い、地域の環境美化に取り組んでいます。



砂浜のごみや流木などを拾い、環境美化に取り組んでいます。



他の建設業者の皆さんと協力して、道路のゴミ拾いなどを実施しました。

私たちの「電設業」という仕事は、ビルや学校などの大きな建物の電気設備や道路の街灯、信号機、さらには家庭のコンセントや照明など小さなものまで電気の通っている幅広い設備の工事を行う、生活に密着した仕事です。このノウハウを活かして、皆さんが安心して授業に臨めるよう、今年の春休みに県内の工業系高校3校で、校内外の照明器具やコンセントの電圧などの安全点検も実施させていただきました。

愛媛通信建設(株)
あまのこうじ
天野 浩司 社長



ひめ建新聞

令和元年度第1号

発行: 愛媛県・愛媛県建設産業団体連合会
TEL.089-943-5324

地域を支え、守る建設産業

建設産業は、日々の暮らしや地域の産業を支え、時には災害から人々を守るために活動する、地域に欠かすことのできない重要な産業です。人々の暮らしをより豊かにするために日々がんばっている建設業の仕事について、皆さんにご紹介します。

産業・経済を支えます!

人や物の円滑な移動のための拠点である空港や港湾、道路、鉄道など、地域の産業・経済活動を支える社会基盤を整備するとともに、地域における多くの人の雇用も支えています。



東予港中央地区複合一貫輸送ターミナル整備事業

人々を守ります!

集中豪雨や地震といった災害が発生した際には、いち早く現場に駆けつけ、人命救助のための障害物の除去や河川のはん濫を食い止めるなど、応急復旧活動を行います。



西日本豪雨災害復旧工事

暮らしを支えます!

道路やトンネル、ダムなどの土木施設、学校や病院、ビルや住宅などの建物を造り、それらの維持・管理をしていくことで、地域の豊かな暮らしを支えています。



現場監督として、現場で働く人々への指示や安全・危機管理、1日のスケジュール管理などを行っています。

一若建設(株)
かとうせいや
加藤 聖也 さん

現場の危険を見逃さないよう安全・安心を心掛けています。

今日の自分より、明日の自分のほうが一つでも成長している、何か一つでもいいので、成長できることが多くなるよう心掛けています。日々成長



現場監督の助手として、安全管理や進捗管理などの補助と建築工事の現場作業などを行なっています。



(株)白石工務店
たかしな かえで
高科 楓 さん

経験を積み、いろいろなことが一人でもできるようにになりました。

建設業のイメージは、入職する前は「怖いのかな」と思っていました。全然そんなことはなくて、先輩の皆さんが優しく話しかけてくれたり、現場でも楽しく和気あいあいと作業ができることです。

お店のデザインから依頼主の方と一緒に考えて、世界に一つだけの建物を作ってみたいです。楓さんの「まじめポイント」を教えてください!



建設クイズ

建設のこと、どれくらいわかるかな? チャレンジしてね。

Q1 次のうち、建設用語はどれでしょう?

- ① おはぎ
- ② あんこ
- ③ 団子

Q2 トンネルは日本語で何というでしょう?

- ① 横道
- ② 一道
- ③ すい道

Q3 県内の建設業で働いている人は何人でしょう?

- ① 約3千人
- ② 約1万人
- ③ 約5万人

答えは終面にて

建設業では、こんな人たちが働いています!

Q 仕事の誇れるところは?

ないものができる「ゼロから一を造る」ことが一番だと思います。実際に橋や道路ができたらどんな人が使ってくれるのか、そんなことを想像すると、ワクワクしてやっぱり面白い仕事だなと思います。

Q 仕事をすすめるうえで、心掛けていることは?

今日の自分より、明日の自分のほうが一つでも成長している、何か一つでもいいので、成長できることが多くなるよう心掛けています。日々成長

Q 皆さんにメッセージを!

建設業は楽な仕事とは決して言えませんが、心が躍りワクワクする仕事です。苦労した分だけ得られるのも多く、やりがいを感じられるので、いつか皆さんと一緒にこの業界で働きたいなと思います。

マルゴトひめ建

をチェック!! アクセスはこちら



建設業の仕事を紹介



コンクリート工場で強度試験。さちんとできたかな？



建設現場の見学を実施しました。



愛媛大学で災害のメカニズムの講義を受けました。



採石場で発破見学。規模が凄い!!

充実した
本当に楽しい
5日間
でした!!



昨年、建設業者（インターンシップ（就業体験）した、松山工業高校土木科3年生の水木敬介さんと藤原銀次さんにお話を聞きました。

工業高校では専門的な知識を学生の頃から学ぶことができ、将来の就職にも有利です。クラスが明るく、団結力が強いところも魅力なので、『ものづくり』が好きなのは、ぜひ工業高校に入学して、建設業に触れ合ってもらいたいです。

建設現場で働いてみてどうでしたか？
職場の方たちは、親切で優しい人ばかりでした。昨年の西日本豪雨の土砂災害の復旧工事現場や道路を造っている現場を目の当たりにして、改めて生活を支えてくれている大切な仕事なんだなと思いました。



松山工業高校 土木科3年生 藤原 銀次さん

松山工業高校 土木科3年生 水木 敬介さん

建設業を体験してみた！ 昨年インターンシップを経験した皆さんの先輩にインタビューしました。



建物の基礎の高さを確認しています。



CAD(図面作成ソフト)の操作体験。指導を受けながら図面を作成しました。



自分で考えた木製工作物の図面を作成しています。出来上がりが楽しみ！

普段の授業では習うことのできない貴重な体験ができました。

昨年、建設業者（インターンシップ（就業体験）した、松山工業高校建築科3年生の乗松由佳さんにお話を聞きました。

卒業後は建築関係の大学に進学し、そこでさらに勉強したうえで、将来は建設に携わる仕事がしたいです。

建設現場で働いてみてどうでしたか？
普段の学校の授業では習うことのできない建物が出来あがっていく過程などを、実際に現場に行き、目で見て体感し学ぶことができ、将来にとってとてもいい経験になりました。



松山工業高校 建築科3年生 乗松 由佳さん

災害時にも大活躍！



河の護岸が崩れて建物が危ない…



道路が崩れて通行不能に…



大型土のう設置

建設業者が応急復旧を実施！



土砂の撤去

建設業者が応急復旧を実施！



応急復旧完了

護岸の決壊を防ぐことに成功しました！



応急復旧完了

道路が通行可能になりました！



すいぞう建設業

道路が使えないと、救急車が駆けつけたり、水や食料などの支援物資も届けることができません。そんな時、いち早く現場に駆けつけ、倒木や土砂の撤去、応急復旧を行うなど、建設業者で働く人たちが大活躍しました。
災害から1年が経過した現在も、道路や護岸などの復旧工事が進められており、1日も早い復興に向けて、地域の建設業者が全力を挙げて頑張っています！

2018年7月の西日本豪雨では、県内各地で道路や橋が流されたり、河川の堤防が壊れたり、土砂崩れや浸水被害など、人々の快適で安全な暮らしに大きな被害と影響を与えました。
西日本豪雨災害のときには、たくさんの方の建設業関係者がボランティアに駆け付け、尽力しました！



災害復旧支援車

災害復旧支援車